

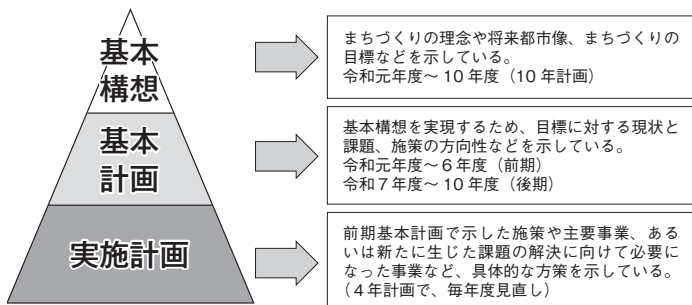
5 経営企画部

所沢市総合計画

総合計画は、本市の市政運営の羅針盤となるものであり、まちづくりの方向性とその実現に向けた施策などを示している。

～総合計画の構成と期間～

令和元年度よりスタートした第6次所沢市総合計画は、「基本構想」「(前期・後期)基本計画」「実施計画」の3層構造になっている。



～基本構想～

《将来都市像》

今後10年間にめざすべき姿

絆、自然、文化 元気あふれる『よきふるさと所沢』

～将来都市像に込めた思い～

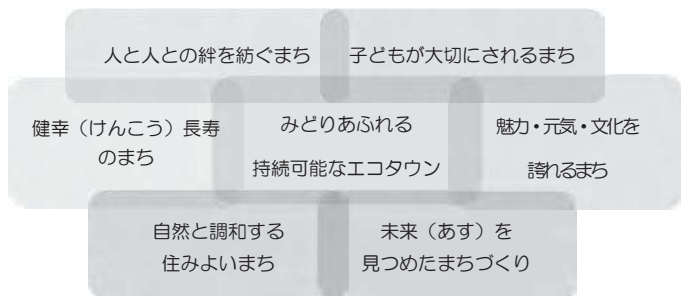
人と人との絆を紡ぎ、
人と自然が調和した、
所沢ならではの
「文化」の風薫るまち

まちの魅力を高め、
にぎわいを生み、
心身ともに健康で生きがい
を持って活躍する
「元気あふれる」まち

子どもたちにとって、
所沢はふるさとです。
人生のどんな時でも
懐かしく思い起こせる
ふるさと

《まちづくりの目標》

将来都市像を実現するうえで、市政運営に必要な事項を分野別に整理するため、7つの「まちづくりの目標」を定めている。



～前期基本計画～

《リーディングプロジェクト》

「将来都市像」を達成するため、前期基本計画の計画期間中において、特に「優先的に進める取り組み」を「リーディングプロジェクト」として位置づけている。

- (1) 絆を紡ぐまちづくり ～住み慣れたまちで暮らせる「絆」のまちづくり～
地域コミュニティの充実や、住み慣れた自宅や地域で暮らし続けるための取り組みの推進など
- (2) 子どもが大切にされるまちづくり ～まちぐるみで見守る子どもの成長～
子育て家庭への支援の充実や、確かな学力と自立する力の育成、豊かな心の育成など
- (3) 元気でいきいき“健幸（けんこう）長寿のまち”の実現
～「歩いて」「楽しんで」感じる健幸長寿～
歩くこと等の健康的な取り組みによる生活習慣の改善や、スポーツ活動を気軽に楽しめる環境づくりなど
- (4) 人と自然が共生するまち“エコタウン所沢”の実現
～自然と共生した持続可能なエコタウン～
再生可能エネルギーの推進や、貴重なみどりの保全、まちなかみどりの創出など
- (5) 所沢ブランドの推進とまちの活性化
～みどりと文化を伝える「所沢ブランド」の発信～
にぎわい拠点の創出・活性化や地域産品のブランド化の推進、個性あふれる文化の創造など

《第6次所沢市総合計画 各章及び節について》

前期基本計画は、基本構想で掲げている7つの「まちづくりの目標」を「章」として位置づけ、第1章から第7章に設定し、各章には個別具体的な方向性を示す「節」を設定している。

計画推進にあたっては、複雑化する昨今の地域課題に対応していくために、各章・各節間の連携・補完を重視し、横断的に取り組みを進める。

■第6次所沢市総合計画 各章及び節

第1章	人と人との絆を紡ぐまち	第1節	地域づくり	第5章	魅力・元気・文化を誇れるまち	第1節	産業基盤		
		第2節	地域福祉			第2節	産業競争力・成長力		
		第3節	障害者福祉			第3節	観光・にぎわい		
		第4節	高齢者福祉			第4節	産業人材・雇用		
		第5節	生涯学習・社会教育			第5節	国際化・多文化共生		
		第6節	危機管理・防災			第6節	文化芸術・伝統文化		
		第7節	防犯・消費生活			第6章	自然と調和する住みよいまち	第1節	土地利用
		第8節	交通安全					第2節	市街地整備
第2章	子どもが大切にされるまち	第1節	子ども支援	第7章	未来(あす)を見つめたまちづくり	第3節	道路		
		第2節	子ども福祉			第4節	交通政策		
		第3節	子育て環境			第5節	水道		
		第4節	青少年健全育成			第6節	下水道		
		第5節	学校教育			第7節	住宅・住環境		
第3章	健幸(けんこう)長寿のまち	第1節	健康づくり	第1節	人権の尊重				
		第2節	早期発見・疾病予防	第2節	市民参加・情報共有				
		第3節	地域医療	第3節	人材育成・組織体制				
		第4節	医療保険・医療情報	第4節	行政経営				
		第5節	スポーツ推進	第5節	財政運営				
第4章	みどりあふれる持続可能なエコタウン	第1節	低炭素社会						
		第2節	みどり・生物						
		第3節	循環型社会						
		第4節	大気・水環境等						

男女共同参画政策

1. 男女共同参画推進事業

男女共同参画の推進に関する基本理念や基本的施策、市・市民・事業者の責務等を規定した所沢市男女共同参画推進条例（平成16年9月24日公布、平成17年1月1日施行）に基づき、男女共同参画社会の実現をめざしている。

(1) 第4次所沢市男女共同参画計画

男女共同参画に関する社会的な動向を加味した、第4次所沢市男女共同参画計画（計画期間：令和元年度～令和10年度）に基づき男女共同参画に関する施策を総合的かつ計画的に推進していく。

(2) 男女共同参画情報誌の発行

『SUN』年2回発行（Vol.59～60）A4判 4ページ 各5千部

(3) 政策決定過程への女性参画状況 【令和3年4月1日現在】

		総数（人）	うち女性数（人）	比率（％）
所沢市議会		31	8	25.8
審議会等	行政委員会	36	5	13.8
	法律・条例等設置の附属機関	940	294	31.3
	計	976	299	30.6
市職員 (一般行政職) ※保育士・ 看護師職等を除く	部長級以上	19	3	15.7
	次長級	42	4	9.5
	課長級	108	14	12.9
	課長補佐級	38	4	10.5
	係長・主査級	446	146	32.7
	職員数	1,409	431	30.5

2. 所沢市男女共同参画推進センター ふらっと

所在：寿町 27 番 7 号 コンセールタワー 所沢 2 階 電話：04 (2921) 2220

設置：平成 7 年 4 月

構造：鉄筋コンクリート造一部鉄骨造 地上 25 階・地下 2 階

延べ床面積 27,283.17㎡のうち 2 階部分（専有面積 588.97㎡）

(1) 施設概要

使用区分 室名	使用料					
	第1区分	第2区分	第3区分	第4区分	第5区分	第6区分
	午前 9:00 ~ 午前 11:00	午前 11:00 ~ 午後 1:00	午後 1:00 ~ 午後 3:00	午後 3:00 ~ 午後 5:00	午後 5:30 ~ 午後 7:30	午後 7:30 ~ 午後 9:30
図書・資料コーナー (約 195㎡)	貸出不可					
会議室 (50 名・80㎡)	1 区分 320 円					
研修室 (30 名・56㎡)	1 区分 320 円					
生活工房室 (76㎡) 調理台使用	1 区分 630 円					
生活工房室 (76㎡) 調理台使用無	1 区分 320 円					
保育室 (36㎡)	施設利用者のみ貸出可					

※休館日：木曜日・祝日（祝休日が木曜日となった場合はその翌日）・年末年始

※開館時間：午前 8 時 30 分から午後 9 時 30 分

(2) 相談事業

相談事業の内容及び相談件数〈令和 2 年度実績〉

内容	曜日・時間	件数
電話相談	毎週月・水・金・土曜日 10 時～16 時 毎月第 2・第 4 火曜日	751 件
カウンセリング	毎月第 1・3・4 火曜日 10 時～16 時 毎月第 2 火曜日 14 時～20 時 毎月第 4 金曜日 10 時～16 時	133 件
何でもききます相談 (性別による権利侵害等に関する相談)	毎週水曜日 10 時～16 時	38 件
合計		922 件

所沢市男女共同参画推進センターふらっと 学習・研修事業（令和2年度）

事業名及びテーマ（実施内容）	参加人数	講師等
就職を希望する女性のための就職支援セミナー 9/8（火）	11人	埼玉県女性キャリアセンターとの共催
女性のための護身法ワークショップ 10/7（水）	14人	森山奈央美さん （NPO 法人ライフライツ インパクト 東京代表）
メイクアップ講座 ～マスク美人 目元メイクでー5歳～ 11/11（水）・11/30（月）	30人	野村温子さん、中嶋美紀子さん （ポーラザビューティ）
女性に対する暴力をなくす運動 （パープルリボンキャンペーン） 11/16（月）～20（金） 11/25（水）～26（木）	410人	パープルリボンの配布および パープルリボンキルトの展示 ・11/16～20 こどもと福祉の未来館ロビー ・11/25～26 市役所ロビー
ママパパ防災講座 ー楽しく学び賢く備えるー 12/5（土）	14人	後藤悦子さん （NPO 法人 ママブラグ）
デートDV防止講座（美原中学校） 2/15（月）	210人	吉祥真佐緒さん （一般社団法人エープラス代表）

平和施策

戦後75年が経過し、戦争体験者が年々減少する中で、戦争の悲惨さを風化させることなく後世に語り継ぎ、平和の尊さを啓発するための事業を行った。

【広島平和記念式典参列】

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、式典の一般参列枠が設けられなかったことから昨年度は実施を見送った。

【所沢市平和祈念資料展開催】

平和祈念資料展を富岡まちづくりセンター及び市役所1階市民ホールにおいて開催した。

展示品…広島市・長崎市の原爆写真パネル及び沖縄戦・太平洋戦争の写真パネルなどの展示をした。

【平和を語る会開催】

被爆体験者・戦争体験者による「平和を語る会」を市内小・中学校児童・生徒及び市役所新規採用職員を対象に開催した。

(6回開催、参加者433人)

所沢ブランドの推進

所沢市には狭山湖や狭山丘陵に代表される豊かなみどり、伝統文化や歴史的建造物、農産物や食文化等、数多くの「所沢ブランド」があり、まちの魅力を創出している。

今後は、こうした魅力ある資源に加え、COOL JAPAN FOREST 構想関連事業や東京2020オリンピック・パラリンピックを契機に生まれる新たな文化・ブランド資源を活用することで、広く国内外に向け、まちの魅力を発信していく。

○主な取り組み

- ・にぎわい拠点の創出・活性化
- ・観光を軸としたブランド化の推進
- ・観光客誘致の強化
- ・個性あふれる文化の創造
- ・文化財の保護・活用



東京オリンピック・パラリンピック推進事業

東京 2020 オリンピック・パラリンピックを契機に、様々なスポーツやアスリート、他国の文化との交流を通じて、市の活性化やオリンピック・レガシー（社会的に生み出される持続的なプラスの効果）の創出を目指している。

○ホストタウン（イタリア共和国）

事前キャンプの誘致等により、大会参加国・地域との相互交流を通じて、スポーツ振興、観光振興、教育・文化の向上などを図ることを目的に「ホストタウン」として登録する制度。本市は、東京 2020 大会におけるイタリアオリンピック選手団の事前キャンプ受入を契機に、平成 29 年 12 月にイタリア共和国のホストタウンに登録された。

○市ゆかりの選手応援（機運醸成）

本市にゆかりのあるアスリートを応援することにより、市全体で機運醸成を図ることを目的としている。

○ゴールボール（障害者スポーツの普及啓発）

所沢市民体育館がゴールボールのナショナルトレーニングセンター競技別強化拠点施設に指定されていることと併せ、ゴールボールの金メダリスト（ロンドン大会）である安達阿記子選手と江黒直樹コーチが市内在住ということから、ゴールボールを通じて障害者スポーツの普及啓発に取り組んでいる。

主な事業としては、「ゴールボール体験会」を市内小学生等に対して、平成 27 年度から継続的に実施している（令和 2 年度実績：小学校 5 校）。

国際交流・姉妹都市

アメリカ合衆国・イリノイ州ディケイター (DECATUR) 市

姉妹都市締結：昭和 41 年（1966 年）5 月 6 日

名 称：合衆国海軍提督ステファン・ディケイター氏の名前に由来。

位 置：シカゴとミズーリ州セントルイスの間にあり、どちらからも車で3～4時間ほどの所に位置する。

産 業：米国中西部の穀倉地帯に位置し、大豆やとうもろこしの産地であるとともに、大手穀物商社も立地。他にも大手建設機械メーカーから、ベンチャー企業まで立地している。

面 積：121.62km²

人 口：72,174 人

締結の経緯

昭和 40 年（1965 年）当時の在日米陸軍所沢兵站センターに勤務する軍属ジョージ・V・ミラー氏の出身地がディケイター市であったことから、当時の人口規模・主要産業・人工の湖（狭山湖・ディケイター湖）など多くの共通点をもつ所沢市と姉妹都市提携をとの話があり、姉妹都市締結に至った。



中華人民共和国・江蘇省常州（CHANGZHOU）市

姉妹都市締結：平成4年（1992年）4月20日

位 置：上海と江蘇省の省都・南京のほぼ中間地点にあり、北は長江に接し、南は太湖に近い。

産 業：古くから織物や櫛の生産で有名。現在は上海経済圏に属し、IT、電子機械、再生可能エネルギー、先進素材、バイオ薬品を5大基幹産業としている。

面 積：4,372.15km²

人 口：5,278,121人

締結の経緯

日中国交正常化10周年に当たる昭和57年（1982年）7月、両国の友好関係を促進するため所沢市議会内に日中友好所沢市議会議員連盟が設立され、同連盟や所沢市国際友好委員会を基盤に友好関係樹立のため関係方面への働きかけが行われた。昭和60年（1985年）10月、所沢市日中友好都市調査団30人が北京の中日友好協会を表敬訪問した後、常州市を訪問し、以来、約7年間に及ぶ交流を続け、平成4年（1992年）4月20日、姉妹都市締結に至った。



大韓民国・京畿道安養（ANYANG）市

姉妹都市締結：平成 10 年（1998 年）4 月 17 日

位置・市概要：首都ソウルの南約 25km に位置し、周囲を山に囲まれた盆地で自然の景観が秀麗。また、高層住宅が立ち並ぶ中で、近年では安養パブリックアートプロジェクトをすすめており、芸術によるまちづくりを目指している。

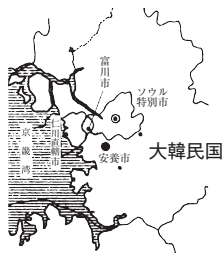
産 業：ソウルへの通勤圏であるために、郊外に集中している軽工業のほか、近年ではハイテク産業やベンチャー企業の立地が進んでいる。

面 積：58.48km²

人 口：551,136 人

締結の経緯

両市の交流は、平成 8 年（1996 年）5 月、安養市韓日親善協会会長ら 3 人が来庁し、当市の概況調査、同市職員による行政視察の打診が行われたことに始まる。その後、数回にわたり相互交流が行われるなか姉妹都市締結の機運が盛り上がり、平成 10 年（1998 年）4 月 17 日、市・市議会・国際友好委員会の 3 者代表が同市を訪問して姉妹都市締結に至った。



所沢市国際友好委員会

(TOKOROZAWA INTERNATIONAL FRIENDSHIP COMMITTEE)

昭和 41 年（1966 年）に創立された所沢市国際友好委員会は、友好親善を基調とし、理解ある外国都市との経済の提携、文化及び人物の交流に寄与することを目的とし、各種親善事業計画立案、具体化などの事業を行っている。

COOL JAPAN FOREST 構想

○構想の趣旨

所沢市と株式会社 KADOKAWA が共同プロジェクトとして取り組んでいる、文化と自然が共生した、誰もが「住んでみたい」「訪れてみたい」地域づくりを進める構想である。

株式会社 KADOKAWA が建設する拠点施設「ところざわサクラタウン」を中心とした、半径約 500 m 圏内の重点推進エリア「COOL JAPAN FOREST」において、双方が協力して文化事業や企業誘致、統一的な空間演出等を行うなど、産官共同で事業を展開していく。

拠点施設

「ところざわサクラタウン」



◇構想の4つの柱

①みどり・文化・産業が調和した地域づくり

人々の生活に欠かせない「みどり」「文化」「産業」をエリア内に集約することにより、職住近接のエリアを創出し、新たな地域のあり方を提示していく。

③新しい地方創生を体現

企業の経営ノウハウと、行政の地域マネジメントとの効果的な相互作用で新たな人の流れを生みだす。企業と行政が企画段階から共同で取り組む先駆性の高い新たな地方創生を体現する。

②所沢から COOL JAPAN を発信 ～海外観光客を呼び込みます～

所沢市にある数多くの文化遺産や歴史的な農の伝統、地元農産物、伝統工芸、狭山丘陵などの「みどり」の地域資源。アニメ・書籍などのコンテンツ。COOL JAPAN の視点でパッケージ化し、KADOKAWA のネットワークを活用して世界に発信する。

④住んでみたい・訪れてみたいまち

「ところざわサクラタウン」から広がる「みどり・文化・産業が調和したまち」の姿が「水とみどりがつくるネットワーク」を通じて、市全体、周辺地域に広がっていきます。エリア全体の魅力を高めることで観光客の増加など所沢市全体の元気に繋げていく。

ロゴマーク



COOL JAPAN
FOREST

構想ロゴのコンセプト

晴れた日には富士山を望み、春には東川沿いに咲く満開の桜を愛で、東所沢公園をはじめとした豊かなみどり (FOREST) に囲まれた空間。みどり・文化・産業が寄り添い、みんなが集い、楽しみ、にぎわう。

そして「ほっ」とひと息、憩いの場 (FOR REST) でありたい。

○これまでの経緯

- 2014年 5月 旧所沢浄化センター跡地の土地利用について、(株) KADOKAWA と基本協定書を締結
- 2015年 4月 (株) KADOKAWA より共同プロジェクトの発足を提案される
 - 〳 6月 「COOL JAPAN FOREST 構想」共同発表会を実施
- 2016年 3月 「COOL JAPAN FOREST 構想」を策定
 - 〳 6月 「COOL JAPAN FOREST 構想」推進に関する協定を締結
- 2018年 2月 拠点施設「ところざわサクラタウン」着工
- 2020年 11月 「ところざわサクラタウン」グランドオープン
- 2021年 5月 「所沢市観光情報・物産館 YOT-TOKO (よっとこ)」グランドオープン

官学連携について

所沢市では、以下の4学校と「官学連携に関する基本協定書」を締結し、相互連携を通じた協働によるまちづくりを推進している。

学校名 所在地	支援・協力内容
学校法人秋草学園 所沢市泉町 1789	① 社会福祉の充実に関する事項 ② 都市環境の保全・創出に関する事項 ③ 教育・文化・芸術・スポーツの発展等に関する事項 (各校の対象分野により異なる) ④ 産業振興に関する事項 ⑤ 地域コミュニティの発展に関する事項 ⑥ 人材育成に関する事項 ⑦ その他、市と学校が必要と認める事項
西武学園医学技術専門学校 所沢市泉町 1806	
日本大学 芸術学部 東京都練馬区旭丘 2-42-1 (所沢市中富南 4-21)	
早稲田大学 人間科学部・スポーツ科学部 所沢市三ヶ島 2-579-15	

広域行政

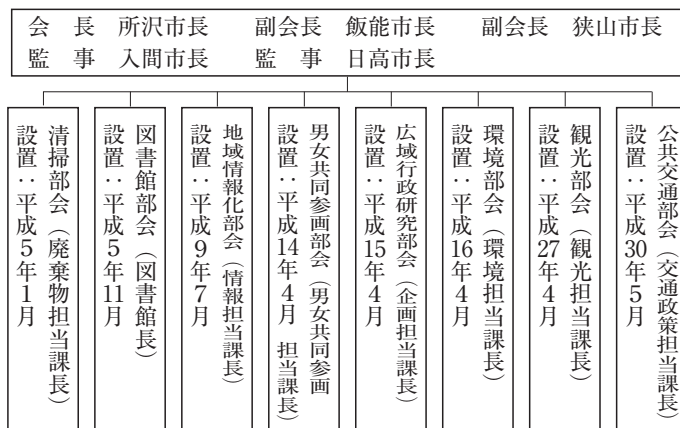
道路や鉄道などの交通網の発達、そして情報化社会の進展などにより、市民の日常生活圏は、市域を越えて拡大してきている。

本市では、こうした社会情勢を踏まえ、近隣市町との連携による広域行政を進めている。

本市が進める広域行政の組織としては、昭和63年に飯能市、狭山市、入間市とともに組織し、平成31年より日高市が加入した「埼玉県西部地域まちづくり協議会」があり、5市市民の交流を深めるためのイベントの共同開催や、ごみ処理の協力体制、図書館・文化施設・体育施設等、公共施設の相互利用などさまざまな事業に取り組んでいる。

今後も、構成5市に共有する課題について効果的に取り組むと同時に、所沢市民をはじめとする圏域住民の豊かな暮らしの創造に向け、広域行政の一層の充実を図っていく。

●埼玉県西部地域まちづくり協議会組織



広報活動

●広報・その他刊行物

名 称	規 格	回数	配布部数	配布対象	配布方法
・広報ところざわ ・翔びたつひろば	タブロイド 16P 4 P	12	167,642 (月平均) ※印刷単価 (頁) 0.43 円 配布単価 (部) 11.5 円	全 戸	戸別配布
デイジー版 ・広報ところざわ ・家庭の資源とごみの 分け方・出し方 ・健康ガイド	CD-R 全文録音	12 1 1	504 (年間) 41 41	視覚障害者	郵 送
点字版 ・広報ところざわ ・家庭の資源とごみの 分け方・出し方 ・健康ガイド	B5 判 52P B5 判 40P B5 判 16P	12 1 1	156 (年間) 13 13	視覚障害者	郵 送

●ホームページ

名 称	年間総アクセス件数
所沢市ホームページ	36,670,586 件

●メール配信

名 称	利用登録者数	年間配信件数
ところざわほっとメール	29,458 件	2,528 件

●番組制作・放送

内 容	本数	放送時間	制作・放送費用	委託業者
「広報ところざわ・テレビ情報館」 行政情報・各種制度など暮らしに 役立つ情報を紹介(毎日1回放送)	1	5 分	231,000 円	(株)ジェイコム 埼玉・東日本 所沢局

●広報データ放送

内 容	更新件数	委託業者
テレビ埼玉のデータ放送により、災害時などの緊急時には防災情報を、平時は市政情報を文字情報にて配信	37 件	(株)テレビ埼玉

情報化施策

所沢市の電子計算機を利用した事務処理は、昭和43年度固定資産税事務を始めとして市民税、国民健康保険税、国民年金、道路台帳等の業務を漸次計算センターへの委託により実施してきた。これらの大量反復事務処理は、ほとんどが昭和50年度までに開始されている。

昭和61年7月に事務処理の効率化を推進するため、電子計算機を自己導入し、翌年2月から住民記録オンラインシステムが本稼働している。さらに昭和62年度中に、税オンライン、国民年金（拠出）、老人保健、選挙等のシステムを本稼働させ、平成14年度末には43業務に拡大し、事務処理の効率化を図っている。平成19年度には「基幹情報システム更新計画」として汎用機からオープンシステムへの移行計画を策定する。これに基づき、平成23年10月の住記系、戸籍オープンシステムの稼働に始まり平成26年10月に税系オープンシステムが稼働し、汎用機で稼働していた業務システムのオープンシステム移行を終えた。

また、所沢市の高度情報化については、平成7年5月策定した「行政情報化基本計画」を基に、平成8年に全庁ネットワークの整備を行うなど、行政の情報化を推進している。さらに、国が掲げる情報化戦略・政策を踏まえ、平成14年度に「所沢市電子市役所構築基本方針」を策定し、平成20年度には「所沢市電子市役所推進基本方針」を策定する。また、平成15年3月より3年ごとに「所沢市電子市役所推進アクションプラン」「同Ⅱ」「同3」「同4」を策定している。平成26年度からは、名称を新たに「所沢市ICT推進基本方針」を策定し、平成31年3月に改正している。また、この具体的な行動計画として「所沢市ICT推進アクションプラン2019-2021」を策定している。平成27年度には、人的セキュリティの更なる向上にあたり「情報セキュリティ監査基本計画」を策定し、平成28年度から情報セキュリティ監査を実施するなど、さらに市民サービスの質の向上、効率的な行政運営、情報セキュリティの向上など各種情報化施策を計画的・継続的に展開している。

〈具体的取り組み状況〉

(1) 汎用コンピュータによる電子計算処理及び運営

- 昭和56年4月 資産税課にオフィスコンピュータ JIPMDP-3 を導入し、
土地、建物の評価額証明、車庫証明の発行を開始
- 昭和57年11月 事務改善委員会に「電算機自己導入検討専門部会」を
発足
- 昭和58年12月 事務改善委員会において電子計算機自己導入方針を決定
- 昭和61年7月 電算導入準備室に電子計算機を導入
- 昭和62年2月 住民記録オンラインシステム稼働
- 昭和62年12月 印鑑オンラインシステム稼働
昭和62年度中に税オンライン他12システム稼働
- 昭和63年12月 国民健康保険税システム稼働
- 平成元年4月 固定資産税システム稼働
平成元年度中に児童手当他7システム稼働
- 平成5年4月 給与システム稼働
- 平成12年4月 介護保険オンラインシステム稼働
- 平成14年2月 外国人登録システム稼働
- 平成14年8月 住民基本台帳ネットワークシステム一次稼働
- 平成14年10月 新・税総合オンラインシステム一部稼働
- 平成15年4月 新・税総合オンラインシステム本稼働
- 平成15年8月 住民基本台帳ネットワークシステム二次稼働
- 平成16年11月 戸籍オンラインシステム稼働
- 平成20年4月 後期高齢者医療システム稼働
- 平成20年5月 軽自動車税コンビニ収納開始
- 平成21年4月 市民税・固定資産税・国民健康保険税コンビニ収納開始
- 平成23年10月 住記系、戸籍オープンシステム稼働
- 平成24年4月 介護保険オープンシステム稼働
- 平成25年2月 新・人事給与システム稼働
- 平成25年7月 福祉総合オープンシステム稼働
- 平成26年10月 税系オープンシステムの稼働により汎用コンピュータ
による電子計算処理業務終了
- 平成26年11月 汎用コンピュータを撤去

(2) 高度情報化施策

平成 8 年 4 月	所沢市ホームページ開設
平成 8 年 9 月	全庁情報通信ネットワーク構築
平成 8 年 10 月	財務会計システム稼動
平成 9 年 10 月	所沢市議会ホームページ開設
平成 10 年 5 月	保健センター情報処理稼動
平成 11 年 3 月	ふれあいネットワーク構築 公共施設案内・予約システム稼動 図書館ネットワークシステム稼動 保健福祉システム稼動 生涯学習・行政情報提供システム稼動 教育ネットワークシステム稼動 水道部ネットワークシステム稼動 会議室・公用車予約システム稼動
平成 12 年 6 月	電子メール運用開始
平成 13 年 10 月	例規集検索システム稼動
平成 14 年 7 月	Web 版グループウェア導入
平成 14 年 10 月	総合行政ネットワーク (LGWAN) に接続
平成 15 年 12 月	情報セキュリティポリシー策定
平成 17 年 8 月	埼玉県市町村電子申請・届出サービス運用開始
平成 17 年 10 月	庁外との回線を光ファイバーに変更
平成 20 年 9 月	所沢市議会インターネット中継システム稼動
平成 22 年 2 月	農地基本台帳及び農地地図情報システム稼動
平成 24 年 8 月	所沢市サーバ仮想化事業計画策定
平成 25 年 7 月	サーバ集約化事業稼働
平成 28 年 1 月	ICT-BCP (ICT 部門の業務継続計画) 策定
平成 28 年 1 月	情報セキュリティ監査基本計画策定
平成 29 年 6 月	自治体情報セキュリティ強化対策事業完了
平成 30 年 11 月	地理空間情報システム稼動
令和 3 年 2 月	リモートアクセス環境の整備